

## 第6回紀の川市長期総合計画審議会 要旨

**開催日時** 平成29年6月13日（火） 午後1時28分から2時47分

**開催場所** 紀の川市役所 本庁5階 501大会議室

### 出席者

#### 【紀の川市長期総合計画審議会】（委員20名）

仁藤会長、井口副会長、楠見委員、西川（武）委員、横山委員、柑本委員、岡本委員、植田委員、田村委員、渡部委員、西川（泰）委員、野村委員、尾崎委員、井尻委員、小倉委員、山田委員、右梅委員、城口委員、東委員、赤坂委員（欠席 今木委員、中川委員、阪中委員、泉中委員、高田委員）

#### 【紀の川市（紀の川市長期総合計画本部）】（1名）

森本企画部長（策定本部員）

#### 【事務局（企画調整課）】（3名）

角課長、東、西端（受託業者 堀井、小部）

#### 【傍聴】（なし）

### 資料

- ① 「第6回審議会 次第」 [※事前配布]
- ② 【参考資料①】 第5回審議会の要旨 [※事前配布]
- ③ 【参考資料②】 紀の川市長期総合計画審議会委員 ご意見お伺いシートとりまとめ表  
[※事前配布]
- ④ 【資料1】 第2回紀の川市ワークショップ 実施報告書 [※事前配布]
- ⑤ 【資料2】 序論及び基本構想（案） [※事前配布]
- ⑥ 【資料2 参考資料①】 基本構想における計画体系とまちづくりの目標設定の考え方  
[※事前配布]
- ⑦ 【資料2 参考資料②】 まちづくり目標設定の考え方 [※事前配布]

### 会議の概要

1. 開会
2. 会長あいさつ

### 3. 議 事

#### (1) 前回要旨の確認（指摘事項に対する対応方針）

##### ➤ 事務局

【参考資料①】「第5回紀の川市長期総合計画審議会 要旨」について、第5回審議会終了後に取りまとめ、5月中旬に各委員あて送付、内容をご確認いただき、特に修正等のご意見がございませんでしたので、現在、市のホームページにて公表させていただいている旨報告。

##### ➤ 事務局

【参考資料②】「紀の川市長期総合計画審議会委員 ご意見お伺いシートとりまとめ表」について、前回の審議会終了後、または審議会においていただいたご意見を一覧表にして取りまとめたものとして、ご意見の内容と事務局の対応について説明。（既に説明済み分を除き NO. 13 について説明）

前回（第5回）の審議会後に、「序論及び基本構想（素案）」の内容のうち、「社会環境の変化」について、「我が国では」など、日本全体のことが述べられているが、紀の川市の「社会環境の変化」について論述すべきではないかとの意見を受け、今回、議題の（3）序論及び基本構想（案）において、国レベルの社会環境の変化に一部、県が認識している社会環境の変化の記述を加え、その上で、市の魅力、魅力を活かしたこれまでの取り組みに対してどのような課題があり、新たな計画でどのように対応するのかという構成に変更している旨説明。

#### (2) 第2回紀の川市ワークショップの実施報告について【資料1】

##### ➤ 事務局

【資料1】に基づき、5月28日に開催した第2回紀の川市ワークショップの概要について、管内の粉河高校、貴志川高校から多くの学生の参加をいただき、44名の参加者によるグループワークを用いた新たな長期総合計画に掲げる「安全・安心」、「子育て・教育」、「産業・交流」、「都市基盤・生活環境」、「地域づくり・行政経営」の5つの分野の「まちづくりの目標」の検討、文章化までを実施した旨説明。

【質疑なし】

(3) 序論及び基本構想（案）について【資料2】

➤ 事務局

【資料2】に基づき、前回の審議会において提案した（素案）から、加筆・修正した赤字部分を中心に説明。

9ページ目の「基本構想」「第1章 将来像とまちづくりの目標」「(1) 紀の川市の将来像」について、前回の審議会意見を踏まえ、事務局においてA案「人が行き交い 自然の恵みあふれる 住みよいまち 紀の川市」とB案「人が行き交い 自然の恵みと笑顔あふれる 紀の川市」の2案に絞り、取りまとめている旨説明。

10ページから12ページ目の「(2) まちづくりの目標」について、【資料2 参考資料①】および【資料2 参考資料②】のとおり、多くの時間と過程、多くの参加者の意見をもとに取りまとめ、5つのまちづくりの目標を設定している旨説明。

➤ 西川（武）委員

9ページの「紀の川市の将来像」について、A案、B案をどのように決めるのか。ディベートや多数決で決めるのか。

➤ 事務局

本日の審議会でのご意見を伺い、最終、市で決定させていただき予定である旨説明。

➤ 楠見委員

「紀の川市の将来像」について、公募する予定はないのか。

➤ 事務局

アンケートやワークショップ等でいただいた市民の皆さまのご意見をもとに、積み上げてきた経緯もあり、今から公募することは考えていない旨説明。

➤ 楠見委員

「紀の川市の将来像」について、「住みよいまち」という言い切り方ではなく、「希望あふれる」という表現の方が個人的には良いと思う。

➤ 楠見委員

11ページの③「産業・交流」の分野のサブタイトル「行きがい」という表現について、「行き交う」にかけているのか。日本語として問題ないのか。公的なものに造語を使用するのはいかがなものか。

➤ 事務局

11ページの「行きがい」については、「行った甲斐があった」という意味での「行きがい」としている。現在、市で進めている「シティプロモーション」で「知ってもらい」「来てもらい」「住んでもらう」ための取り組みを実施しており、「来てもらい」取り組みにより「行った甲斐があった」という流れでの「行きがい」という表現をしている旨説明。

➤ 野村委員

「紀の川市に行ってよかった」という観点での「行きがい」であれば日本語として使わないのでは。また、「行ったり来たり、行き交う、交流」という意味を「行きがい」という言葉に持たすには違和感がある。

公的な文書に使用するキャッチフレーズ的な表現としては薄っぺらい感じがするので、読まれた方が素直に理解できる文章にすべきではないか。

➤ 仁藤会長

解説しなければ意味が通じない表現では、公的な文書として使用できないので、事務局でもう少し検討する旨を指示。

➤ 岡本委員

「行きがい」をひらがなにして、読み手に委ねるのも良いのでは。

➤ 井口副会長

6ページの「②伝統ある歴史・文化」について、「紀伊国分寺」の内容を追加してはどうか。紀の国の中で紀の川市に置かれたのには大変意味がある。今日の豊富な農作物や美しい自然を有していることにも繋がっており、紀の国の中心地で重要な地域であることを認識してもらうためにも検討してください。

➤ 東委員

歴史の中で、「国宝」「重要文化財」「伝統的な祭」など色々ある。それらがまずあって、次に青洲先生をはじめとした世界に誇る人物を取上げていただく方が良いと思う。

➤ 事務局

研究、検討のうえ、反映できる部分は反映させていただきたい旨説明。

➤ 仁藤会長

紀の川市には、色々な文化・歴史がある。文化財をとっても国宝から県の重要文化財、市の重要文化財とあり、あるところで線を引かなければならないので、解釈は市の歴史や文化を熟知した担当と調整のうえ、反映させていただく方向性を確認。

➤ 事務局

9 ページの将来像について、本日の審議会でのご意見を踏まえ、最終、庁内で絞り込み、庁内で決定させていただいた結果につきましては、委員の皆さまに報告させていただきたい旨を説明。

➤ 仁藤会長

本日の審議会でのご意見を踏まえ、事務局で将来像を調整し、庁内本部会での議論を経て確定させていただく。A案、B案を骨子に微調整のうえ、いずれかに確定させていただくことを確認。

➤ 渡部委員

総合計画という性質から、イメージも大事だが具体的な政策にこれから活かすことを考えると、A案のように「住みよいまち」と言い切るほうが良いと思う。

➤ 西川（武）委員

B案は「あふれる」が、「自然の恵み」にも「笑顔」にもかかっている、紀の川市考えているな。と思われて良いと思う。

➤ 野村委員

「住みよいまち 紀の川市」という表現よりも「住みよい 紀の川市」とする方が良いのでは。

また、それぞれの良いところを取って「自然の恵みと笑顔あふれる 住みよい 紀の川市」とするのも分かりやすく良いのでは。

➤ 仁藤会長

この案は絶対にダメだ。というのが無ければ、事務局と本部会議において、本日の審議会でのご意見を踏まえ、決定させていただくことを了承いただく。

➤ 西川（泰）委員

和歌山県の総合計画との連動をどのように考えているのか。例えば、農業の分野では、県は果樹にあまり頼らない複合経営を目指す方向として掲げている。

➤ 事務局

和歌山県の総合計画において、具体的な取り組みの中で、複合経営等の推進に関する方向性が明記されています。具体的な取り組み部分である基本計画を作成する際には、国・県の動向も踏まえた配慮が必要と考えている旨説明。

➤ 楠見委員

今後のスケジュールを確認したい。

➤ 事務局

第5回審議会の【参考資料③】を用いて説明。

➤ 城口委員

7ページの「②大規模自然災害への対応」として、当市には危険ため池が多く存在するため、地震災害以外に危険ため池に関する記述が必要では。

➤ 事務局

基本構想部分もしくは基本計画部分での反映を検討させていただきたい旨説明。

(4) その他

➤ 事務局

本日の審議会での議論を踏まえ、資料2の「序論及び基本構想（案）」を調整し、6月23日（金）から7月14日（金）にかけて、パブリックコメントを実施し、その後、第7回審議会において基本構想の最終調整を実施する旨を説明。

次回、第7回審議会につきましては、7月24日（月）から26日（水）のいずれかでの開催を予定している旨のご案内。

4. 閉 会（副会長あいさつ）